

アーツ前橋 年報No.10 2022年度（令和4年度）

2022年度の主な出来事

- 2022年 4月29日 「境界線、そして交差する点へ
—アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズム—」開催
(～7月18日)
- 6月22日 アーツ前橋館長選考委員会（第1回）開催
- 8月 6日 「Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子」開催（～10月30日）
- 10月26日 アーツ前橋館長選考委員会（第2回）開催
- 11月14日 アーツ前橋館長選考委員会（第3回）開催
- 11月19日 「萩原朔太郎大全2022 一朔太郎と写真一」開催（～2023年3月5日）
「潜在景色」開催（～2023年3月5日）
- 12月16日 令和元年度展覧会「山本高之とアーツ前橋のBEYOND20XX 未来を考えるための教室」
記録集未発行案件に係る和解書締結
- 2023年 3月 6日 南條史生の前橋市文化芸術戦略顧問就任を発表（就任は4月1日付）
- 3月15日 借用作品紛失案件に係る和解合意書締結
- 3月31日 令和元年度展覧会「山本高之とアーツ前橋のBEYOND20XX 未来を考えるための教室」
記録集発行

目 次

2022年度の主な出来事	2
I 展覧会	5
境界線、そして交差する点へ	
アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズム	6
Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子	7
萩原朔太郎大全2022 －朔太郎と写真－	9
潜在景色	10
II 地域アートプロジェクト	13
滞在制作事業	14
石塚まこ	15
チェン・リヤンシェン	16
III ラーニング	17
アーティスト・イン・スクール 全体概要	18
前橋市立上川淵保育所 × 村田峰紀	19
アーツナビゲーター研修	20
あ一つひろば	22
サポートー活動記録	24
メンバーシップ	24
視察・見学	25
先生のための無料招待ウィーク	25

IV 所蔵資料	27
2022年度 収蔵作品	28
2022年度 修復	28
2022年度 貸出実績	29
2022年度 収蔵図書	29
V 運営／各事業に関する資料	31
条例	32
運営評議会	34
収蔵美術品専門委員会	35
館長選考委員会	36
来館者数統計	38
刊行物	39
職員名簿	39
展覧会出品リスト	41
関連記事	49

- 【凡例】
・《 》は、作品名を示す。〈 〉は、シリーズ名およびプロジェクト名を示す。
・肩書、役職などは事業実施時点のものである。
・年号の標記は西暦で統一した。ただし、「V運営／各事業に関する資料」は和暦で統一した。

I

展覽會

境界線、そして交差する点へ — アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズム —

人間が土地を移動することは一種の習性といえるか？ “未知の世界を知りたい” という好奇心を芽とした移動は、生物学的にみても同じく移動をする渡り鳥や魚類の遷上・回遊とは一線を画す。

本展では、自らが暮らす場所の地層を掘り下げた高橋常雄、田中恒、高橋武の視点から出発し、インスピレーションの源泉を求めて国境を越え海外へ渡った深谷徹、中村節也、狩野守らによる表現の飛躍を、アーツ前橋のコレクションから紹介した。物理的な移動に加え、詩的な空想の世界へと旅をした東宮不二夫、正田壌、武澤久の作品や、アーツ前橋の多文化共生プロジェクト〈イミグラジオ〉の音源など約30点の作品・資料を展示了。

【会期】2022年4月29日(金・祝)～2022年7月18日(月・祝)

※2022年6月2日(木)より一部展示替え

【日数】70日間

【開館時間】10時から18時まで(入場は17時30分まで)

【休館日】水曜日(ただし5月4日は祝日のため開館)、5月6日

【会場】アーツ前橋 1階ギャラリー

【観覧料】無料

【運営】[主催]アーツ前橋

【出品点数】39点

【入場者数】2,999名

【印刷物】ポスター 40部

チラシ 30,000部



【関連事業】子ども向けワークショップ「線のふしぎ！ドライポイントで版画をつくろう」

【日時】2022年5月28日(土)14時から16時

【会場】アーツ前橋 スタジオ

【講師】秋山佳奈子(版画家・画家)

【参加人数】10名



親子向けツアー

「はじめまして びじゅつかん」

【日時】①2022年5月16日(月)

②2022年6月13日(月)

③2022年7月11日(月)

各回とも10時から10時30分

【会場】アーツ前橋 1階ギャラリー

【参加人数】のべ7名



担当学芸員によるギャラリーツアー

【日時】2022年7月2日(土)14時から14時30分

【会場】アーツ前橋 1階ギャラリー

【参加人数】6名

【担当学芸員】新井陽子、辻瑞生

Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子

「Art Meets」は、アートを通じて創造的な日常を発見し、多様な考え方や感性に触れることを目的に、中堅アーティストの活動を紹介する展覧会として開催している。

第7回は、各地の海水から採取した塩を用いた砂時計や、植物等を人間の臓器に見立てて配置した作品など、個人を超えた自然の大きなサイクルの中で「生」を捉えなおす活動を続けている後藤朋美と、被写体がまとう曖昧な空気を捉えた写真をはじめ、ポラロイドにタイプライターで印字した「テクストグラフィ」や、数年のタイムラグで捉えた2つの像を一枚に焼き付ける二重露光写真など、メディアの可能性を試しながら、イメージと物質と時間の概念を拡張させていく田村尚子を紹介した。

【会期】2022年8月6日(土)～10月30日(日)

【日数】74日間

【開館時間】10時から18時まで(入場は17時30分まで)

【休館日】水曜日

【会場】アーツ前橋 1階ギャラリー

【観覧料】無料

【運営】[主催]アーツ前橋

[後援]上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、
前橋商工会議所

【出品点数】56点

【入場者数】3,920名

【印刷物】ポスター 500部

チラシ 20,000部

リーフレット 2,000部



【関連事業】インスタントカメラで物語を作ろう！

インスタントカメラを使ってアーツ前橋の周囲を撮影し、それらをもとに物語を作った。

[日時]2022年8月7日(日)13時から16時

[会場]アーツ前橋スタジオ、アーツ前橋周辺地域

[講師]田村尚子

[参加人数]7名

[協力] instax

※「あ一つひろば」として実施した。

上映会+トークイベント

田村尚子がラ・ボルド精神病院の滞在中に撮影した映像作品を上映し、アーティスト・トークを開催した。

[日時]2022年8月13日(土)13時から15時

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[登壇者]田村尚子

[参加人数]16名

ライブパフォーマンス

後藤朋美の氷のインスタレーション作品の中で、ゲストによるライブパフォーマンスを行った。

[日時]2022年8月14日(日)15時から16時

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[出演者]OLAibi(音楽家)、Kitta(植物染色家)、後藤朋美

[参加人数]26名

学芸員によるギャラリーツアー

[日時]2022年8月11日(木・祝)、9月10日(土)14時から14時30分

[会場]アーツ前橋 1階ギャラリー

[参加人数]6名

おしゃべりアートデイズ

[日時]2022年8月20日(土)、9月17日(土)、10月15日(土)14時から14時40分

[会場]アーツ前橋 1階ギャラリー

[参加人数]23名

【担当学芸員】井上康彦、五十嵐純



萩原朔太郎大全2022 — 朔太郎と写真 —

萩原朔太郎没後80年を記念して、全国各地の52か所の文学館や美術館等で開催された展覧会「萩原朔太郎大全2022」の参加企画として実施した。

朔太郎にとって「写真」とは、「言葉」の他に詩心を表現するもうひとつの手段であり、17歳で初めてカメラと出会って以降、生涯を通じてカメラは常に朔太郎とともにあった。本展では、朔太郎自身が撮った前橋を中心とする風景写真や、朔太郎の詩や写真などに触発されて制作された3名の作品を紹介した。

【会期】2022年11月19日(土)～2023年3月5日(日)

【日数】86日間

【開館時間】10時から18時まで(入場は17時30分まで)

【休館日】水曜日(ただし11月23日は祝日のため開館)、11月24日、年末年始
(2022年12月28日(水)～2023年1月4日(水))

【会場】アーツ前橋 1階ギャラリー

【観覧料】無料

【運営】[主催]アーツ前橋

[助成]一般財団法人ぐんま食と歴史文化財団

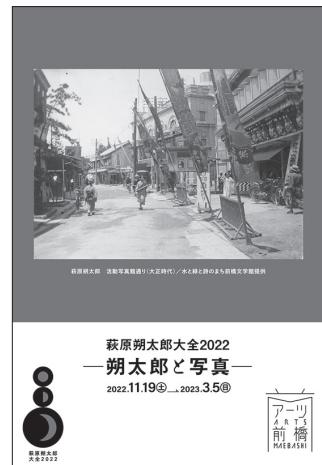
[協力]前橋文学館、萩原朔太郎研究会

【出品点数】42点

【入場者数】4,516名

【印刷物】ポストカード 30,000部

鑑賞ガイド 5,000部



【関連事業】関連トーク「詩人と写真」

[日時]2023年1月21日(土)14時から16時

[会場]前橋文学館ホール

[登壇者]萩原朔美(前橋文学館館長)、吉増剛造(詩人)、木暮伸也(写真家)

[参加人数]34名

学芸員によるギャラリーツアー

[日時]2022年12月10日(土)、2023年2月19日(日)14時から14時30分

[会場]アーツ前橋 1階ギャラリー

[参加人数]のべ7名

【担当学芸員】北澤ひろみ



潜在景色

写真は目の前に見えているもののみならず、その場所に潜む見えない何かをとらえる。雄大なランドスケープや身近な街の風景、何気ない日常生活の一場面をとらえた写真は、その場所の歴史的、社会的な背景、そこに流れてきた膨大な時間や記憶の痕跡を想起させる。

本展はそうした写真の見えないものをとらえる力に着目し、前橋をはじめとする群馬全域、さらに広域にわたるエリアを作家それぞれが独自の視点と、多様な手法を用いて制作した作品で構成した。見過ごされているものや、場所が内包するものへと眼差しが向けられていくことで、見慣れた自然や街、日常の風景の中に潜在的な景色が出現した。

【会期】2022年11月19日(土)～2023年3月5日(日)

【日数】86日間

【開館時間】10時から18時まで(入場は17時30分まで)

【休館日】水曜日(ただし11月23日は祝日のため開館)、11月24日、年末年始
(2022年12月28日(水)～2023年1月4日(水))

【会場】アーツ前橋 地下ギャラリー

【観覧料】一般600円／学生・65歳以上・団体(10名以上)400円／高校生以下
無料

※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は観覧無料

※2023年1月9日(月・祝)は前橋初市まつりのため観覧無料

【運営】[主催]アーツ前橋

[助成]一般財団法人ぐんま食と歴史文化財団、公益財団法人朝日
新聞文化財団

[協賛]株式会社原田・ガトーフェスタ ハラダ

[協力]公益財団法人前橋観光コンベンション協会、群馬県、みなかみ町観光協会、須藤牧場、特定非営利活動法人赤城自然塾、上州文化ラボ、rin art association、タカ・イシイギャラリー、KOTARO NUKAGA、白井屋ホテル、株式会社フレームマン、スガ アート

[後援]上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所

【出品点数】152点

【入場者数】3,145名

【印刷物】ポスター B2判 1,000部

チラシ A4判 50,000部

図録 B5判、146頁 1,500部



【関連事業】アーティストトーク

[日時]2022年12月18日(日)14時から16時

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[登壇者]石塚元太良、西野壯平

[参加人数]19名

アーティストトーク

[日時]2023年2月25日(土)14時から16時

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[登壇者]村越としや、鈴木のぞみ

[参加人数]21名



ワークショップ「見えない風景」

[日時]2022年12月3日(土)10時から16時

[会場]アーツ前橋 周辺地域

[登壇者]下道基行

[参加人数]10名



ワークショップ「潜像を可視化する」

[日時]2023年2月4日(土)10時から16時

[会場]アーツ前橋 スタジオ、アーツ前橋

周辺地域

[登壇者]鈴木のぞみ

[参加人数]9名

学芸員によるギャラリーツアー

[日時]2022年11月23日(水・祝)、2023年1月28日(土)、3月4日(土)14時から15時

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]のべ21名

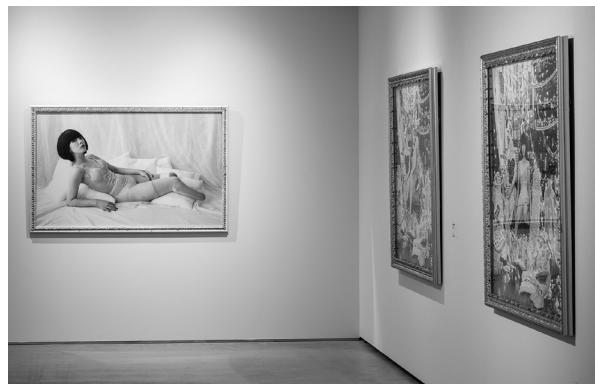
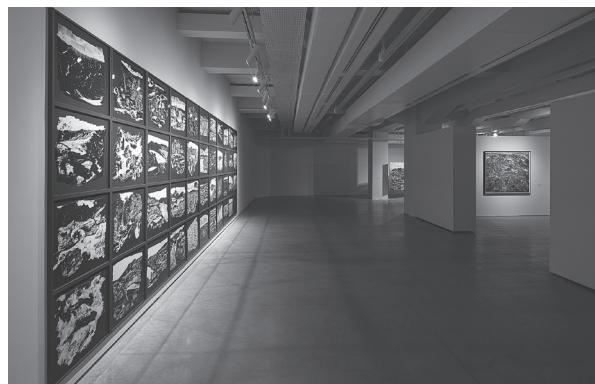
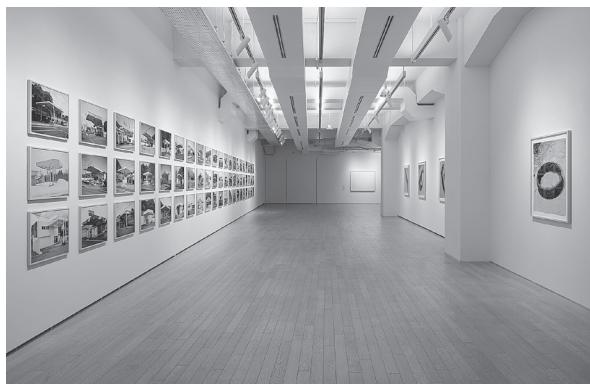
おしゃべりアートデイズ

[日時]2022年12月17日(土)、2023年1月21日(土)、2月18日(土)14時から14時40分

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]のべ27名

【担当学芸員】 北澤ひろみ、新井陽子、辻瑞生



II

地域アートプロジェクト

II 地域アートプロジェクト

滞在制作事業 海外アーティスト 概要

2020年度から国立台北芸術大学関渡美術館(Kuandu Museum of Fine Arts／台湾)と「国際芸術家交流プログラム」として双方が選出した作家の滞在制作(AIR)を実施する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2021年度はオンラインでのリサーチを行い、2022年度は、台湾からチェン・リヤンシェンをアーツ前橋に招聘した。関渡美術館での実施は2023年度に延期された。

滞在制作事業 国内アーティスト 概要

2020年度に二国間交流プログラムとして国立現代美術館(MMCA／National Museum of Modern and Contemporary Art／韓国)への派遣が決定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、韓国への渡航が困難となり2か年延期措置をとったが、2022年度に改めてMMCAは実施しないこととなった。そのため、派遣内定をしていた石塚まこへ代替案としてアーツ前橋での滞在制作を提案し、招聘した。

石塚まこ ISHIZUKA Mako

石塚はこれまで海外を拠点にさまざまな文化の中で暮らし、母国ではない土地で生きることで得た視差や思考のしなやかさを生かして、異なる背景をもつ人々との協働や社会への介入など、視覚芸術に限らない多様なメディアを用いて活動してきた。

近年は、動く生活の中にある言語や文化の翻訳のひだに隠れる、逸脱、間違いとされるものや感情を掬いあげるプロジェクト〈追熟と訛り〉を世界各地、自分がよそ者となる社会を転々としながら展開している。前橋での滞在制作では、現代、日本という文脈において石塚が思いを巡らせている3つの関心事—人間性の返上、外に委ねた自己の輪郭確保、現代アートと社会の距離感—と重ねて、このプロジェクトの次なる転びに取り組んだ。



【滞在期間】 2022年5月10日(火)～6月21日(火)

【滞在場所】 堅町スタジオ(前橋市千代田町2-4-1)

【関連事業】 オープンスタジオ

過去に行ったプロジェクトや滞在中のリサーチを中心に堅町スタジオの1、2階を使用して展示を行った。

[日時] 2022年6月11日(土)～12日(日)13時から19時まで

[会場] 堅町スタジオ

アーティストトーク

過去の作品の紹介や、滞在中に制作した作品、リサーチについて発表した。

[日時] 2022年6月11日(土)17時から18時まで

[参加者数] 40名

【コーディネーター】 NPO法人マエバシ・アート・プラクティス

【担当学芸員】 五十嵐純、井上康彦



チェン・リヤンシェン CHEN, Liang-Hsuan

海外在住のアーティストを対象にした滞在制作では、2020年度より国立台北芸術大学閔渡美術館(Kuandu Museum of Fine Arts／台湾)と二国間交流事業プログラムを実施することとなった。

2020年度も渡航が困難なことから、2か年計画として、2021年度はオンラインによるリサーチプログラムを行った。

2022年度は前年度のオンラインでのリサーチも参考にしながら、前橋各所を巡った。萩原朔太郎が撮影した写真に关心を持ち、るなばあくや臨江閣、利根川などの朔太郎が訪れたであろう場所をリサーチし、場所にまつわる記憶等をテーマに時空を超えたコメディ要素のある映像作品を制作した。



チェン・リヤンシェンは、台北を拠点に活動。映像を主な手法として用い、異なる時間の断片を接続するための時空移動を試みるような作品を制作している。

【滞在期間】 2023年2月1日(水)～2023年3月30日(木)

【滞在場所】 堅町スタジオ(前橋市千代田町2-4-1)

【関連事業】 オープンスタジオ

滞在中のリサーチと制作した作品の一部を堅町スタジオの1階を使用して展示を行った。

[日時]2023年3月25日(土)13時から17時まで

[会場]堅町スタジオ

座談会

滞在中のリサーチの様子や滞在中に制作した作品について、関係者とともに座談会を行った。

[日時]2023年3月25日(土)15時から16時まで

[出演者]小出和彦、福西敏宏、山口貴子、通訳：糸井潤

[参加者数]23名

【コーディネーター】 山口貴子、福西敏宏

【制作補助】 小出和彦(脚本)、高橋由貴(通訳)、岡安賢一(撮影)

【担当芸員】 辻瑞生



III

ラーニング

III ラーニング

〈アーティスト・イン・スクール(A. I. S)〉全体概要

アーティスト・イン・スクール(A. I. S)は2016年度から続く学校連携の事業であり、アーティストやクリエイターを市内の小・中・高等学校へ派遣し、児童・生徒、学校の先生たちとかかわりながらワークショップや授業を行うプログラム。児童・生徒たちとアーティストが共同で学び、表現力や発想の豊かさ、コミュニケーション力を身につけることを目的とする。

7年目となる2022年度は、市内保育所からの依頼により、はじめて「保育園児」を対象にした2日間のアーティスト・イン・スクールが実現した。

【主催】アーツ前橋

【協力】前橋市立上川淵保育所

【記録】市根井直規

【印刷物等】報告書 630×297mm両面(仕上り:A4判)1,500部



前橋市立上川淵保育所×村田峰紀



アーティストの村田峰紀が、保育園児とともに普段の園での活動ではできないようなダイナミックな創作表現を行った。初日のワークショップ「身体で考えよう」では、円形の穴をくり抜いたベニヤ板から腕だけを出して、机上に置いたスケッチブックにドローイングする実演を見せ、園児たちが追体験した。慣れない方法での“お絵描き”に怖がっていた園児もいたが、大多数の園児が最初から積極的に参加した。

2日目の「かくちょう」では、所定の時間内に「画用紙を塗りつぶす」「後ろ向きで描く」「両手にクレヨンを持って描く」「2人で1枚の画用紙に描く」「2人で1枚の画用紙に両手にクレヨンを持って描く」などのインストラクションがあり、子どもたちはそのルールにしたがって絵を描いた。その後、園庭にて巨大シートの上で制作を行った。子どもたちはナイロンテープ、ガムテープ、クレヨンなどでシートの上に素材を貼ったり描いたりした。いずれの体験でも子どもたちの生き生きとした自由な表現の場が作れた。

【日 時】 ①2022年10月13日(木)、②10月20日(木)いずれも10時から15時

【会 場】 前橋市立上川淵保育所

【講 師】 村田峰紀

【対 象】 1歳児：15名、2歳児：18名、3歳児：21名、4歳児：21名、5歳児：22名

【担当学芸員】 辻瑞生、井上康彦

アーツナビゲーター研修



来館者と共に対話型作品鑑賞のファシリテーションを行うボランティアガイド「アーツナビゲーター」を育成するための研修プログラム。

グループワークを基本に作品鑑賞の意義やガイドプランの作成方法などを実際に体験しながら習得し、作家・作品情報などの専門知識だけに頼らない鑑賞方法について学びを深めた。

本年度は3年ぶりに新規募集を行い、対面で研修を行った。継続者に対しては、視覚に障害のある人と一緒に鑑賞する研修を行い、より対象を広げたファシリテーションを目指した。

「アトリエ訪問」では、収蔵作家の制作現場を見学しながら、実際に作家と言葉を交わすことで、作家・作品への理解を深めた。

「おしゃべりアートデイズ」は、展覧会開催中の第3土曜日に定期開催し、9回実施した。

【主 催】アーツ前橋

【講 師】齊藤佳代、多胡宏、郡司厚太、木暮伸也

【参 加 人 数】のべ262名

【担当学芸員】辻瑞生

【活動履歴】

日付	曜日	時間	内容	講師／出演者／解説者	会場	参加人数
2022/ 5/28	土	11:00～11:40	おしゃべりアートデイズ①	アーツナビゲーター	アーツ前橋	8
2022/ 5/28	土	14:00～14:40	おしゃべりアートデイズ②	アーツナビゲーター	アーツ前橋	8
2022/ 7/12	土	14:00～14:40	おしゃべりアートデイズ③	アーツナビゲーター	アーツ前橋	9
2022/ 7/16	土	13:45～15:00	オンライン研修: よこはまアートウォーク	横浜美術館ボランティア、齊藤佳代	アーツ前橋	8
2022/ 8/20	土	14:00～14:40	おしゃべりアートデイズ④	アーツナビゲーター	アーツ前橋	12
2022/ 9/17	土	10:00～16:30	見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に「鑑賞」すること—盲学校での学習で取り組まれたこと、ほか	多胡宏、齊藤佳代、辻瑞生	アーツ前橋	13
2022/ 9/17	土	14:00～14:40	おしゃべりアートデイズ⑤	アーツナビゲーター	アーツ前橋	13
2022/10/ 1	土	10:00～12:30	見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に鑑賞するにはどんな方法があるか考えるワークショップ	三輪途道、辻瑞生	株式会社ヤマト	30
2022/10/ 8	土	13:30～15:00	いろいろ鑑賞会 主催:メノキ	辻瑞生	株式会社ヤマト	24
2022/10/15	土	14:00～14:40	おしゃべりアートデイズ⑥	アーツナビゲーター	アーツ前橋	12
2022/11/ 5	土	14:00～14:40	見えない人、見えにくい人、見える人が一緒に鑑賞するにはどんな方法があるか考えるワークショップ	アーツナビゲーター、辻瑞生	株式会社ヤマト	27
2022/11/12	土	13:30～15:00	いろいろ鑑賞会 主催:メノキ	アーツナビゲーター、辻瑞生	株式会社ヤマト	15
2022/11/19	土	10:30～16:00	座学、鑑賞、ワークショップ	齊藤佳代、辻瑞生	アーツ前橋	8
2022/12/17	土	10:30～16:00	座学、鑑賞、ワークショップ	齊藤佳代、辻瑞生	アーツ前橋	11
2022/12/17	土	14:00～14:40	おしゃべりアートデイズ⑦	アーツナビゲーター	アーツ前橋	11
2023/ 1/21	土	10:30～16:30	座学、ファシリテーション、ワークショップ	齊藤佳代、辻瑞生	アーツ前橋	9
2023/ 1/21	土	14:00～14:40	おしゃべりアートデイズ⑧	アーツナビゲーター	アーツ前橋	10
2023/ 2/ 4	土	10:30～12:00	アトリエ訪問	木暮伸也	作家アトリエ	8
2023/ 2/18	土	10:30～16:00	ワークショップほか	郡司厚太、齊藤佳代、辻瑞生	アーツ前橋	13
2023/ 2/18	土	14:00～14:40	おしゃべりアートデイズ⑨	アーツナビゲーター	アーツ前橋	6
2023/ 3/18	日	10:30～16:00	ファシリテーション実践、面談	齊藤佳代、辻瑞生	アーツ前橋	7

あ一つひろば



アーツ前橋で作品を鑑賞したり、工作を楽しんだり、アーティストと一緒に活動したりと「ひろば」のようにいろいろな体験ができるプログラム。開催中の展覧会や季節の行事と連動したプログラムで、子どもから大人まで誰もが気軽に、幅広い表現を体験できる。

2022年度は、昨年度からの続きとしてアーティストとサポーターが協働で企画した長期プログラムのワークショップ、展覧会に連動したアーティストの展示及びワークショップ、アルテナラ前橋との連携、サポーターの自主企画のプログラムを実施した。

【関連イベント】 第1回あ一つひろば

[日時]2022年5月28日(土)13時から16時

[参加人数] 151名

プログラム①：「機織りのオノマトペ 天の川ぎんが」

[講師] 西岳拡貴

天の川を見立てた約17メートルほどの長い機織りを、みんなで織るワークショップ。参加者やアーツ前橋サポーターが持ち寄った「アオアオしたもの」「ギラギラしたもの」を横糸として織り込みながら、願いを託した。古着や帽子、髪飾りのような装飾品や、缶バッヂ、過去にアーツ前橋の事業で使用した廃材などが集まり、そのまま織り込んだり、素材をさらに組み合わせて横糸にしたりする参加者もいた。事前予約なしのワークショップは2年ぶりの開催であった。

プログラム②：「おしゃべりアートデイズ」

[講師]アーツナビゲーター

プログラム③：「こどもアート探検」

[講師]アーツナビゲーター

未就学児と小学生を対象にした定例のアートツアー。アーツナビゲーターがファシリテーターをつとめた。

第2回あ一つひろば

[日時]2022年8月7日(日)13時から16時

[参加人数]68名

プログラム①：「きらきらドームで遊ぼう」

[講師]後藤朋美

[会場]アーツ前橋 交流スペース

展覧会参加作家の後藤朋美と一緒にドームの中に入り、ハートや丸型の金色の紙が装置からキラキラと噴き出るのを眺めたり、手で掴もうとしたり、床に寝転ぶなどしたりして、楽しんでいた。

プログラム②：「インスタントカメラで物語をつくろう」

[講師]田村尚子

[会場]アーツ前橋 スタジオ

田村尚子のインスタントカメラで制作された作品を展示室で鑑賞した後、馬場川通沿いとアーツ館内を参加した子どもたちが思い思いに撮影。撮影した写真から物語をつくった。

プログラム③：「こどもアート探検」

[講師]アーツナビゲーター

第3回あ一つひろば

[日時]2023年3月5日(日)13時から16時

[参加人数]84名

[連携]アルテナラ前橋

プログラム①：「はじめての絵本づくり 色とことばをつなげて遊ぼう」

[講師]三上愛

[会場]アーツ前橋 スタジオ

いろいろの紙の中から気に入ったものを組み合わせて、針と糸で綴って冊子をつくり、紙の上に選んだ「ことば」や持ち寄った素材を貼り付けて、オリジナルの絵本をつくった。

プログラム②：「ウマくなくてもいいスタジオ」

[講師]アーツ前橋 サポーター

[会場]アーツ前橋 交流スペース

用意された素材や材料で自由に工作できる定例のプログラム。今回は、アルテナラ前橋との連携企画として実施し、制作したものをインスタントカメラで撮影し、ガラス壁面に展示した。

プログラム③：「こどもアート探検」

[講師]アーツナビゲーター

【印刷物】チラシ A4判

【担当学芸員】辻瑞生

サポーター活動記録

日付	曜日	内容
2022/ 5/27	金	あ一つひろば事前準備
2022/ 5/28	土	あ一つひろば「機織りのオノマトペ 天の川ぎんが」
2022/ 5/28	土	こどもアート探検
2022/ 6/29	水	広報発送作業
2022/ 6/30	木	広報発送作業
2022/ 7/ 1	金	広報発送作業
2022/ 8/ 7	日	あ一つひろば「きらきらドームで遊ぼう」
2022/ 8/ 7	日	こどもアート探検
2022/10/ 5	水	広報発送作業
2022/10/ 6	木	広報発送作業
2023/ 3/ 5	日	あ一つひろば「はじめての絵本づくり」
2023/ 3/ 5	日	ウマくなくてもいいスタジオ
2023/ 3/ 5	日	こどもアート探検

メンバーシップ (2023年3月末日現在)

【会員数】 一般会員：45名(男24名、女21名／県内43名、県外2名)

ペア会員：8組

賛助会員：0名

法人会員：15社

【会員対象事業】 メンバーシップ会員向け 展覧会＆白井屋ホテルアート作品鑑賞ツアー

[日時]2023年2月26日(日)15時から17時

[参加者数]15名

[協力]白井屋ホテル

【印刷物】 会報

vol. 16 2022年10月発行

vol. 17 2023年3月発行

【担当】 北澤ひろみ、新井陽子、深澤穂香



視察・見学

日付	時間	団体名(団体解説)	人数
6月17日(金)	10:00	群馬大学市川准教授(県立女子大鑑賞実習)	4
6月18日(土)	10:00	群馬大学市川准教授(県立女子大対話型鑑賞)	4
6月24日(金)	13:20	わせがく高等学校	12
7月 3日(日)	11:00	群馬大学共同教育学部(美術教育講座)	12
7月12日(火)	13:30	コランダム対話型鑑賞受入	6
8月23日(火)	10:00	前橋市立第六中学校美術部	22
8月23日(火)	19:00	中心商店街ギャラリーツアー	12
10月 4日(火)	14:00	桃井小学校(中心市街地インタビュー・職場体験1)	4
10月 4日(火)	13:00	東京藝術大学小瀬村准教授(油画第二研究室)	8
10月18日(火)	10:00	第三中学校(職場体験)	18
10月30日(日)	11:30	建築学会	6
11月 8日(火)	14:00	桃井小学校(中心商店街インタビュー・職場体験2)	4
11月12日(土)	14:00	スマイルキッズショッパーズ	6
11月23日(水)	13:00	ウクライナ避難民の方々他	4
11月29日(火)	10:00	観光コンベンション協会(青森観光機構)	4
11月29日(火)	19:00	中心商店街ギャラリーツアー	9
12月17日(土)	11:30	太田市立西中学校美術部	9
1月16日(月)	13:00	明寿大学	39
1月30日(月)	13:00	明寿大学	24
2月19日(日)	11:30	桂萱地区ファミリーウォーキング	37
3月 2日(木)	16:30	藤沢商工会議所	14
3月 5日(日)	10:30	光が丘町長寿会	10
3月 9日(木)	15:00	駐ブラジル日本特命全権大使	2

先生のための無料招待ウィーク

期間	展覧会名	参加人数
12月1日(木)～12月13日(火)	潜在景色	9

IV

所藏資料

2022年度 収蔵作品 (2022年4月1日 — 2023年3月31日)

	H24 年度 以前	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	合 計
絵画	423	36	6	2	23	45	12	30	22	0	0	599
水彩・素描・下図	62	0	3	1	0	1	0	8	0	0	0	75
版画	0	4	0	0	0	0	0	2	10	0	2	16
写真	0	0	10	0	38	9	16	0	6	0	0	79
彫刻・立体ほか	2	5	27	3	3	6	6	2	9	0	1	63
メディアアート	0	1	0	2	0	2	1	2	11	0	0	19
工芸	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	6
書	32	0	0	0	0	7	0	0	0	0	5	47
	519	46	46	11	64	73	35	44	58	0	8	904

2022年度 修復

作者名	作品名	材質・技法	修復者	修復内容	期間
東宮不二夫	黒い鳥	油彩、キャンバス	有限会社修復研究所21	写真記録、調査記録、カビ除去クリーニング	2022年7月1日～ 2022年7月19日
中村節也	春遠	アクリル、キャンバス	有限会社修復研究所21	額装の新調及び入れ子の追加	2022年9月20日～ 2022年11月30日
金子英彦	10センチ・10センチのあかとしろの 正方形による作品4×4	油彩、板	有限会社修復研究所22	写真撮影、調査記録、クリーニング、補彩	2022年12月12日～ 2022年12月20日
金子英彦	10センチ・10センチのあかとしろの 正方形による作品3×3	油彩、板	有限会社修復研究所23	写真撮影、調査記録、クリーニング、補彩	2022年12月12日～ 2022年12月20日
金子英彦	10センチ・10センチのあかとしろの 正方形による作品3×3	油彩、板	有限会社修復研究所24	写真撮影、調査記録、クリーニング、補彩	2022年12月12日～ 2022年12月20日
金子英彦	10センチ・10センチのあかとしろの 正方形による作品4×2	油彩、板	有限会社修復研究所25	写真撮影、調査記録、クリーニング、補彩	2022年12月12日～ 2022年12月20日
森亮太	ハーモニー	白大理石	香取石彫店	欠損部分修復	2022年12月12日～ 2023年3月31日
森亮太	糸	白大理石	香取石彫店	アンカー調整	2022年12月12日～ 2023年3月31日
森亮太	こころ	白大理石	香取石彫店	洗浄	2022年12月12日～ 2023年3月31日
森亮太	無題	白大理石	香取石彫店	洗浄	2022年12月12日～ 2023年3月31日

2022年度 貸出実績

作者名	作品名	展覧会名／会場	期間／会期
中村節也	尾瀬の花		
中村節也	アルハンブラ宮殿(スペイン)	前橋テルサ	2022年4月1日(金)～2023年3月31日(金)
深谷徹	赤城山夏		
清水刀根	街の朝		
真室真鐵	明日		
金子英彦	10センチ・10センチのあかとしろの 正方形による作品4×4	「アートのための場所づくり	
金子英彦	10センチ・10センチのあかとしろの 正方形による作品3×3	1970年代から90年代の群馬における アートスペース」／群馬県立近代美術館	2023年1月21日(土)～4月9日(日)
金子英彦	10センチ・10センチのあかとしろの 正方形による作品3×3		
金子英彦	10センチ・10センチのあかとしろの 正方形による作品4×2		
小室翠雲	赤城山水図	「山」／高崎市タワー美術館	2023年2月4日(土)～3月21日(火・祝)
田中青坪	浅間高原(5)		
深谷徹	赤城山夏		
川隅路之助	花	前橋市議会事務局	2023年2月7日(火)～3月31日(金)
横堀角次郎	赤城山の風景(仮題)		

2022年度 収蔵図書

区分	冊数
図書	2,187
展覧会カタログ	4,109
逐次刊行物	5,637
映像資料	35
合計	11,968

V

運営／各事業に関する資料

アーツ前橋条例

○アーツ前橋の設置及び管理に関する条例

平成25年6月25日

条例第35号

(設置)

第1条 美術を中心とした多様な表現活動を広く市民に紹介し、芸術文化を通じた交流の場を提供するとともに、質の高い芸術文化事業の運営を市民参画により実現し、もって未来へ向けた創造と魅力あるまちづくりを市民とともに推進するため、本市にアーツ前橋を設置する。

(名称及び位置)

第2条 アーツ前橋の名称及び位置は、次のとおりとする。

(1) 名称 アーツ前橋

(2) 位置 前橋市千代田町五丁目1番16号

(事業)

第3条 アーツ前橋は、次に掲げる事業を行う。

(1) 芸術文化に関する作品その他芸術文化に関する資料（以下「作品等」という。）の収集、保管、展示及び閲覧に関すること。

(2) 作品等の利用に関し、必要な助言及び指導を行うこと。

(3) 作品等に関する調査、研究及び情報交換を行うこと。

(4) 多様な芸術に関する展覧会、講演会、公演、研究会等を行うこと。

(5) 芸術に関する案内書、解説書、年報、調査報告書等を作成し、及び頒布を行うこと。

(6) 前各号に掲げるもののほか、アーツ前橋の設置の目的を達成するために必要なこと。

(企画等を行う組織)

第4条 アーツ前橋に市民参画により芸術文化事業の企画、運営及び評価を行うための組織を置く。

2 前項の組織に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(職員)

第5条 アーツ前橋に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(観覧料)

第6条 アーツ前橋に展示されている作品等を観覧しようとする者（第8条において「観覧者」という。）は、観覧の際、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第7条 学術研究等のため、アーツ前橋に展示され、又は所蔵されている作品等を閲覧、撮影、模写、模造等（以下これらを「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、アーツ前橋の管理上必要があると認めるときは、前項の規定による特別利用の許可に際し、条件を付することができる。

(利用等の制限)

第8条 市長は、観覧者又は特別利用をする者（以下「利用者等」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、アーツ前橋の観覧若しくは特別利用を中止させ、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
 - (2) アーツ前橋の施設、附属設備（第11条において「施設等」という。）又は作品等を汚損、破損又は亡失するおそれがあると認められるとき。
 - (3) その他管理上の支障があると認められるとき。
- 2 市長は、入館者（利用者等を除く。）が前項各号のいずれかに該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（観覧料の不還付）

第9条 納付した観覧料は、還付しない。ただし、利用者等の責めに帰することができない理由により観覧することができなくなったときは、この限りでない。

（観覧料の減免）

第10条 市長は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）

第11条 利用者等は、作品等や施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することができないときは、市長の認定する額を賠償しなければならない。

（委任）

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、市規則で定める。

附則

- 1 この条例は、平成25年7月1日から施行する。
- 2 アーツ前橋の観覧料は、第6条の規定にかかわらず、平成25年10月25日までの間は、無料とする。

別表（第6条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体
常設の展示を行っている場合	一般・大学生	100円
	小学生・中学生・高校生	無料
特別の企画による展示を行っている場合		1,500円以内で市長が定める額

摘要

- 1 「一般・大学生」とは、「小学生・中学生・高校生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「小学生・中学生・高校生」とは、19歳未満の者のうち、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校若しくは特別支援学校に在学する児童若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 4 団体とは、10人以上のものをいう。

アーツ前橋運営評議会

【開催記録】 2022年度（令和4年度）は、館長選考委員会等を踏まえ新体制を整える期間とし、運営評議会は開催しなかった。

【設置要綱】 (設置)

第1条 アーツ前橋の運営方針や事業計画について意見を聴くため、アーツ前橋運営評議会（以下「評議会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 評議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 評議会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総括し、評議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 評議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 評議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 評議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第6条 評議会は、必要があると認めたときは、評議会の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聞くことができる。

(庶務)

第7条 評議会の庶務は、アーツ前橋において行う。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成25年7月1日から施行する。

この要綱は、平成27年6月16日から施行する。

収蔵美術品専門委員会

【委員】

氏名(順不同)	所属
染谷 滋	元富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館長
野地 耕一郎	泉屋博古館東京館長
武居 利史	府中市文化生涯学習課係長
大越 久子	埼玉県立近代美術館 主任専門員 兼 学芸員

【開催記録】 令和4年度は不開催。

【設置要綱】 (設置)

第1条 前橋市の所蔵美術品等(以下「美術品」という。)を適正に取得・収蔵するため、前橋市収蔵美術品専門委員会(以下「専門委員会」という。)を置く。

(審議事項)

第2条 専門委員会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 美術品の評価に関すること。
- (2) 美術品の選定に関すること。
- (3) その他美術に係る専門的事項に関すること。

(組織及び委員)

第3条 専門委員会は、4人以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は、美術に関する専門的知識を有する者とし、市長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 4 市長は、必要があるときは専門的分野の案件に関して審議するため、臨時委員を委嘱することができる。

(委員長)

第4条 専門委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、会務を総理し、審議の結果を市長に報告する。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

(部会)

第6条 委員会に、必要に応じて部会を置くことができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 専門委員会の庶務は、前橋市文化スポーツ観光部文化国際課アーツ前橋において行う。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、専門委員会の運営に関する必要な事項は、委員長が専門委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

アーツ前橋館長選考委員会

【委 員】 人事案件に関わることから委員名は非公表

【開 催 記 錄】

回	日 程	時 間	場 所	内 容
第1回	6月22日 (水)	13:30 ～ 14:30	前橋市役所 12階文化国際課会議室 (オンライン併用)	○館長に求める条件 ○選考方法について ○選考スケジュールについて
第2回	10月26日 (水)	10:00 ～ 11:30	前橋市役所 6階WEB会議室 (オンライン併用)	○応募者に対する1次審査（書面） ○2次審査（面接）について
第3回	11月14日 (月)	10:00 ～ 11:30	アーツ前橋2階会議室 (オンライン併用)	○委員からの候補者の推薦

【設 置 要 綱】 (設置)

第1条 アーツ前橋の次期館長の選定にあたり、アーツ前橋館長選定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) アーツ前橋の次期館長選考方法を決定すること
- (2) アーツ前橋の次期館長選考を行うこと
- (3) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって充てる。

(任期)

第4条 委員の任期は、令和4年6月22日から令和4年12月31日までとする。ただし、必

要に応じて延長することができる。

(会議の公開)

第5条 公開することで公正かつ円滑な議事・選考が阻害されることから、公開を前提とした資料以外は、議事内容を含め非公開とする。

(守秘義務)

第6条 委員その他委員会の会議に出席した者は、当委員会において知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(報酬)

第7条 本市における委員謝礼として支給する。なお、委員を務める職員は支給の対象から除外。

(庶務)

第8条 この委員会の庶務は、文化スポーツ観光部文化国際課が処理するものとする。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施について必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この要綱は、令和4年6月22日から施行する。

来館者数統計

2022年度月別来館者数

アーツ前橋総来館者数	65,730
------------	--------

年月	来館者数 (A) = (C) + (D) + (B) + (E) + (F) + (H) + (I)										開館日数		
	展覧会観覧者数 (C) + (D)		館外 イベント 参加者数 (B)	交流 スペース (E)	アーカイヴ (F)	カフェ (H)	ショッピング (I)	展覧会開催日数					
	展示室 (C)	(内) 有料 展示室 (D)						有料 展覧会					
2022年 4月	4,272	169	169	0	0	0	2,120	185	794	1,004	26	2	0
5月	5,721	1,146	1,146	0	0	0	1,755	451	938	1,431	27	27	0
6月	5,734	894	894	0	0	40	2,090	401	889	1,420	25	25	0
7月	6,603	790	790	0	0	0	3,038	379	920	1,476	27	16	0
8月	6,106	1,511	1,504	0	7	0	1,532	623	845	1,595	26	22	0
9月	5,545	1,149	1,149	0	0	0	1,860	419	809	1,308	26	26	0
10月	7,340	1,267	1,267	0	0	36	2,757	537	947	1,796	27	26	0
11月	4,558	588	588	375	0	42	1,889	263	758	1,018	25	10	10
12月	4,068	836	807	528	29	0	1,323	225	692	992	24	24	24
2023年 1月	5,738	1,441	1,407	953	34	0	1,656	415	706	1,520	24	24	24
2月	5,011	1,242	1,212	898	30	9	1,234	443	812	1,271	24	24	24
3月	5,034	502	502	391	0	16	1,943	351	913	1,309	26	4	4
合 計	65,730	11,535	11,435	3,145	100	143	23,197	4,692	10,023	16,140	307	230	86

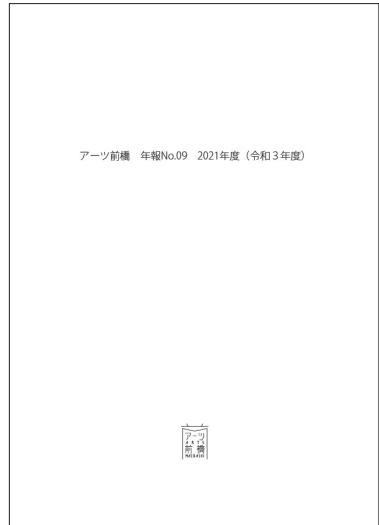
展覧会別観覧者数

展覧会名	会 期	開催日数 (日)	観覧者数 (人)		
			展示室	展示室外イベント	合計
境界線、そして交差する点へ —アーツ前橋コレクションから考える コスモポリタニズム—	令和4年4月29日～令和4年7月18日	70	2,982	17	2,999
Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子	令和4年8月6日～令和4年10月30日	74	3,866	54	3,920
萩原朔太郎大全2022—朔太郎と写真—	令和4年11月19日～令和5年3月5日	86	4,443	73	4,516
潜在景色	令和4年11月19日～令和5年3月5日	86	3,072	73	3,145
合 計			14,363	217	14,580

刊行物

□アーツ前橋 年報No.09 2021年度（令和3年度）

A4判 52頁 250部



職員名簿（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

館長	田中 力（文化国際課長兼務）
副館長	徳野 裕一
副主幹	上田 健司
副主幹	堺 大輔
主任	根岸 隆
主事	加藤 詩織
学芸員	辻 瑞生
学芸員	五十嵐 純 ~令和4年12月1日
学芸員	北澤 ひろみ
学芸員	井上 康彦 ~令和4年12月1日
学芸員	新井 陽子
嘱託員	宇田 春菜 ~令和4年6月30日
嘱託員	深澤 穂香 令和4年7月1日 ~

展覧会出品リスト

境界線、そして交差する点へ —アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズム—

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横×奥行: cm)	所蔵
1	田中恒(恒夫)	農相(青)	1973年	油彩、布・カンヴァス	116.7×91	アーツ前橋
2	高橋武	畑・田園	2002年	油彩、岩絵具、膠・板	91×72.7	アーツ前橋
3	高橋武	図	1993年	水彩・板	131.7×163.8	アーツ前橋
前 4	高橋常雄	春丘	1953年	紙本着色	135×180.5	アーツ前橋
前 5	川隅路之助	五月の窓	1985年	油彩・カンヴァス	130.3×97	アーツ前橋
6	福田貂太郎	南の祭り	1946年	油彩・カンヴァス	91×117	アーツ前橋
7	中村節也	インディアンの子供	1961年	油彩・カンヴァス	45.5×38	アーツ前橋
8	中村節也	砂絵を描くインディアン	1963年	油彩・カンヴァス	61×72.9	アーツ前橋
9	清水刀根	屋外カフェー	1970年	油彩・カンヴァス	97×130.5	アーツ前橋
10	清水刀根	巴里風景	1969年	油彩・カンヴァス	45.5×53	アーツ前橋
11	南城一夫	人形のある静物	1927年	油彩・カンヴァス	59×80.1	アーツ前橋
12	南城一夫	描く人(自画像)	1968年	油彩・カンヴァス	88.5×108	アーツ前橋
13	深谷徹	赤い屋根	1977年	油彩・カンヴァス	136.4×162.2	アーツ前橋
14	狩野守	地の衣	1965年	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	アーツ前橋
前 15	イケムラレイコ	島の女#1	2008年	パステル・紙	42×30	アーツ前橋
前 16	イケムラレイコ	島の女#2	2008年	パステル・紙	42×30	アーツ前橋
前 17	イケムラレイコ	島の女#4	2008年	パステル・紙	42×30	アーツ前橋
18	東宮不二夫	黒い鳥	1975年	油彩・カンヴァス	116.7×91	アーツ前橋
19	東宮不二夫	何処へI	1981年	油彩・カンヴァス	130.3×97	アーツ前橋
20	近藤嘉男	分有の鳥	1975年	油彩・カンヴァス	181.5×259	アーツ前橋
21	正田壌	遠い花火	1995年	油彩、シェルマチエール(貝殻粉末)・カンヴァス	194×258	アーツ前橋
22	正田壌	ダナエー	1998年	油彩、シェルマチエール(貝殻粉末)・カンヴァス	194×260	アーツ前橋
23	池田政治	浮揚	2008年	漆・桂	50×130×65	アーツ前橋
24	武澤久	天と地と(契り)	2000年	紐、油彩・カンヴァス	162.5×194.5	アーツ前橋
25	森亮太	ハーモニー	1974年	白大理石	60×57×40	アーツ前橋
26	森亮太	こころ	1973年頃	白大理石	70×35×21	アーツ前橋
27	森亮太	無題	1978年頃	白大理石	50×37×43	アーツ前橋
後 28	高橋常雄	故郷	1957年	紙本着色	158×115.9	アーツ前橋
後 29	川隅路之助	花	1985年	油彩・カンヴァス	53.1×45.5	アーツ前橋
後 30	イケムラレイコ	島の女#6	2008年	パステル・紙	42×30	アーツ前橋
後 31	イケムラレイコ	島の女#7	2008年	パステル・紙	42×30	アーツ前橋
後 32	イケムラレイコ	島の女#8	2008年	パステル・紙	42×30	アーツ前橋
33				資料(イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～ Vol.1)2020(令和2)年		
34				資料(イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～ Vol.2)2020(令和2)年		
35				資料(イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～ Vol.3)2020(令和2)年		
36				資料(イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～ Vol.4)2020(令和2)年		
37				資料(イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～ Vol.5)2020(令和2)年		
38				資料(イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～ Vol.6)2021(令和3)年		
39				資料(イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～ Vol.7)2021(令和3)年		

Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横×奥行:cm、時間)	所蔵
1	後藤朋美	塩の時計－奥松島市 里浜	2014	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	11×5×4.8	作家蔵
2	後藤朋美	塩の時計－塩釜市 釜ヶ淵	2014	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	11×5×4.8	作家蔵
3	後藤朋美	塩の時計－石巻市 万石浦	2014	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	11×5×4.8	作家蔵
4	後藤朋美	塩の時計－浜比嘉島	2015	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	11×5×4.8	作家蔵
5	後藤朋美	塩の時計－名護市 辺野古	2015	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	11×5×4.8	作家蔵
6	後藤朋美	塩の時計－大宜見村	2015	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	11×5×4.8	作家蔵
7	後藤朋美	塩の時計－上越市 柿崎	2019	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	11×5×4.8	作家蔵
8	後藤朋美	塩の時計－葉山町 一色海岸	2020	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	12×5×5	作家蔵
9	後藤朋美	塩の時計－伊勢市 塩御殿塩汲み入れ所	2021	海で汲んで製塩した自然塩、ガラス	11×5×4.8	作家蔵
10	後藤朋美	実際に使用した手作りの縄文式土器(資料)	2014	製塩土器		作家蔵
11	後藤朋美	夜明け	2022	アクリル、インク		作家蔵
12	後藤朋美	塩の記憶	2014	映像	3分28秒	作家蔵
13	後藤朋美	二回目の初めて	2020	採取した植物、海で汲んで製塩した自然塩、 髪の毛、ガラス、グリッター	23×99.9×46.8	作家蔵
14	後藤朋美	Untitled	2019	繭、ガラス、アクリル、インク	3.5×67×28	作家蔵
15	後藤朋美	2020	2022	採取した植物		作家蔵
16	後藤朋美	生きていた 生きていく	2022	採取した植物		作家蔵
17	後藤朋美	触れるができる間に	2019/2022	氷、アクリル、金色の塊、映像	可変	作家蔵
18	後藤朋美	光のカケラ #2	2018~2019	アクリル、インク	5.5×13×9.5	作家蔵
19	後藤朋美	光のカケラ #3	2018~2019	アクリル、インク	5.5×14.5×8.5	作家蔵
20	後藤朋美	カケラ #5	2018~2019	アクリル、インク	10.3×1.8×1.7	作家蔵
21	後藤朋美	カケラ #6	2018~2019	アクリル、インク	5.9×1.8×1.7	作家蔵
22	後藤朋美	すべて	2018	アクリル、金色の塊	可変(アクリル4×1.8×1.7)	作家蔵
23	後藤朋美	Voice	2019	アクリル、インク		作家蔵
24	後藤朋美	Angel	2019	アクリル、インク		作家蔵
25	後藤朋美	地球で最期に目を閉じる場所	2019	映像	7分32秒	作家蔵
26	田村尚子	Il a vo xila vox #03	2006	Cプリント	59×84	作家蔵
27	田村尚子	Il a vo xila vox_Arles	1999/2003	Cプリント	59×84	作家蔵
28	田村尚子	Il a vo xila vox #01	2004/2022	Cプリント	59×84	作家蔵
29	田村尚子	Il a vo xila vox_Villejuif	2005	Cプリント	84×59	作家蔵
30	田村尚子	Il a vo xila vox_ch	1998	Cプリント	84×59	作家蔵
31	田村尚子	Il a vo xila vox #10	2004/2022	Cプリント	27.5×41	作家蔵
32	田村尚子	Il a vo xila vox #43 Agata	2004	Cプリント	27.5×41	作家蔵
33	田村尚子	Under_thaūmata	2008/2015	ゼラチンシルバープリント	119×92.5	作家蔵
34	田村尚子	Poet_A	2013	ポラロイド写真にタイプライターで刻印	12.7×10.2(4×5inch)	作家蔵
35	田村尚子	Polaroid K #C01	2008	ポラロイド写真	12.7×10.2(4×5inch)	作家蔵
36	田村尚子	Polaroid_Jumo	2008	ポラロイド写真	12.7×10.2(4×5inch)	作家蔵
37	田村尚子	Polaroid M #C00	2008	ポラロイド写真	12.7×10.2(4×5inch)	作家蔵
38	田村尚子	Under_thaij mata_P	2008	プラチナプリント	24×16	作家蔵
39	田村尚子	Poet_B	2021	ポラロイド写真にタイプライターで刻印	12.7×10.2(4×5inch)	作家蔵
40	田村尚子	La Borde-Excursion	2007/2010	RP ダイレクトプリント	57.5×86	作家蔵
41	田村尚子	La Borde-Excursion- 街へ	2007/2010	RP ダイレクトプリント	57.5×86	作家蔵
42	田村尚子	La Borde-Chateaux	2007/2010	RP ダイレクトプリント	57.5×86	作家蔵
43	田村尚子	La Borde-Atelier de la Musique	2007/2010	RP ダイレクトプリント	57.5×86	作家蔵
44	田村尚子	La Borde-portrait	2007/2010	RP ダイレクトプリント	86×57.5	作家蔵
45	田村尚子	La Borde-Salle à manger	2008/2013	RP ダイレクトプリント	27.2×40.5	作家蔵
46	田村尚子	La Borde-jardin	2008/2013	RP ダイレクトプリント	27.2×40.5	作家蔵
47	田村尚子	La Borde-Excursion	2008/2013	RP ダイレクトプリント	40.5×27.2	作家蔵
48	田村尚子	ラ・ボルド精神病院資料	2005~2012	ポラロイドポートレイト写真、新聞ほか		作家蔵
49	田村尚子	作家デッサンと短編映画シナリオ	2006~2022	日光写真に詩、演劇台本(アンティゴネ)ほか		作家蔵
50	田村尚子	Thaūmata_EM	2015	Cプリント	45×45	作家蔵
51	田村尚子	Thaūmata_K	2015	Cプリント	45×45	作家蔵
52	田村尚子	Thaij mata_PP	2015	Cプリント	45×45	作家蔵
53	田村尚子	Thaūmata_M	2015	Cプリント	45×45	作家蔵
54	田村尚子	この世の外へならどこへでも -A	2007	映像	7分49秒	作家蔵
55	田村尚子	Twin rules	2022	映像	6分34秒	作家蔵
56	田村尚子	Anywhere out of the world	2010	映像	5分15秒	作家蔵

萩原朔太郎大全2022 — 朔太郎と写真 —

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横×奥行:cm、時間)	所蔵
前 1	萩原朔太郎	活動写真館通り	大正時代	ゼラチンシルバープリント	40.5×44	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 2	萩原朔太郎	馬場川通り	昭和初期	ゼラチンシルバープリント	40.5×44	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
3	萩原朔太郎	龍海院の参道	大正時代	ゼラチンシルバープリント	40.5×54.3	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
4	萩原朔太郎	前橋公園のトンネル	大正11年頃	ゼラチンシルバープリント	40.5×54.3	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 5	萩原朔太郎	藤棚と池	大正末期	ゼラチンシルバープリント	40.5×44	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 6	萩原朔太郎	紺屋町通り	昭和初期	ゼラチンシルバープリント	40.5×44	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
7	萩原朔太郎	白き建物と煙突	大正時代	ゼラチンシルバープリント	54.5×40.5	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
8	萩原朔太郎	神明宮	明治末期	ゼラチンシルバープリント	54.5×40.5	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
9	萩原朔太郎	前橋公園の桜	明治末期	ゼラチンシルバープリント	40.5×54.3	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
10	萩原朔太郎	利根橋と両毛橋鉄橋	不詳	ゼラチンシルバープリント	40.5×54.3	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 11	萩原朔太郎	つり橋	不詳	ゼラチンシルバープリント	40.5×54.3	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 12	萩原朔太郎	つり橋	不詳	ゼラチンシルバープリント	40.5×54.3	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
13	萩原朔太郎	桑町通りI	昭和4年頃	ゼラチンシルバープリント	40.5×54.3	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 14	萩原朔太郎	丸の内風景	大正時代	ゼラチンシルバープリント	39.8×43.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 15	萩原朔太郎	ニコライ堂	大正12年	ゼラチンシルバープリント	40×54	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 16	萩原朔太郎・萩原朔美	馬場川通り	2012	ゼラチンシルバープリント	20×21.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 17	萩原朔太郎・萩原朔美	紺屋町通り	2012	ゼラチンシルバープリント	20×21.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 18	萩原朔太郎・萩原朔美	大渡橋I	2012	ゼラチンシルバープリント	20×21.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 19	萩原朔太郎・萩原朔美	活動写真館通り	2012	ゼラチンシルバープリント	20×21.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 20	萩原朔太郎・萩原朔美	藤棚と池	2012	ゼラチンシルバープリント	20×21.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 21	萩原朔太郎・萩原朔美	赤城大沼	2012	ゼラチンシルバープリント	20×21.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
22	萩原朔太郎	家族との散歩	大正時代	ゼラチンシルバープリント	36×43.5	個人蔵
23	萩原朔美	家族との散歩	2012	ゼラチンシルバープリント	36×43.5	作家蔵
24	萩原朔太郎	大阪・石橋駅	不詳	ゼラチンシルバープリント	36×43.5	個人蔵
25	萩原朔美	大阪・石橋駅	2012	ゼラチンシルバープリント	36×43.5	作家蔵
前 26	吉増剛造	朔太郎の幻影 - a	2002	ポラロイド写真	10.8×8.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 27	吉増剛造	朔太郎の幻影 - b	2002	ポラロイド写真	10.8×8.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 28	吉増剛造	朔太郎の幻影 - c	2002	ポラロイド写真	10.8×8.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 29	吉増剛造	朔太郎の幻影 - d	2002	ポラロイド写真	10.8×8.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
前 30	吉増剛造	朔太郎の幻影 - e	2002	ポラロイド写真	10.8×8.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 31	吉増剛造	朔太郎の幻影 - f	2002	ポラロイド写真	10.8×8.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 32	吉増剛造	朔太郎の幻影 - g	2002	ポラロイド写真	10.8×8.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
後 33	吉増剛造	朔太郎の幻影 - h	2002	ポラロイド写真	10.8×8.8	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
34	吉増剛造	僕もここに居たことがある	2022	複写	90×65.6	作家蔵
35	吉増剛造	僕もここに居たことがある	2022	インク、紙	33.5×24.5	作家蔵
36	木暮伸也	広瀬川柳	2016	インクジェットプリント	142×100	作家蔵
37	木暮伸也	景織 萩原朔太郎記念館	2022	インクジェットプリント	100×140	作家蔵
38	木暮伸也	離れ屋敷	2022	インクジェットプリント	142×100	作家蔵
39	木暮伸也	書齋	2022	インクジェットプリント	142×100	作家蔵
40	木暮伸也	歪景 松	2022	インクジェットプリント	100×142	作家蔵
41	萩原朔太郎	【資料】紺屋町通り	昭和初期	ガラス乾版	4.5×10.5	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
42	萩原朔太郎	【資料】藤棚と池	大正末期	立体写真用台紙付プリント	4.5×10.5	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
43	萩原朔太郎	【資料】大森駅前の坂道	大正末期	立体写真用台紙付プリント	4.5×10.5	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
44	萩原朔太郎	【資料】活動写真館通り	大正時代	ガラス乾版	4.5×10.5	水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵
45	萩原朔美	【資料】朔太郎・朔美写真展 朔太郎が切り取った風景を求めて	2022	ヴィデオ	5分9秒	個人蔵
46		【資料】		ステレオスコープ		水と緑と詩のまち 前橋文学館蔵

潜在景色

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
1	下道基之	Bridge	2011	インクジェットプリント	可変	作家蔵
2	下道基之	Bridge	2022	インクジェットプリント	可変	作家蔵
3	下道基之	見えない風景 より	2010	白地図、チラシ		作家蔵
4	下道基之	MOTサテライト2017秋むすぶ風景 東京都現代美術館	2017	映像		作家蔵
5	村越としや	木立をぬけて	2009	ゼラチンシルバープリント	24.8×24.8	作家蔵
6	村越としや	神鳴り、山を赤く染める	2022	ゼラチンシルバープリント	25×25	作家蔵
7	村越としや	大きな石とオオカミ	2011-2012	ゼラチンシルバープリント	24.7×30.6	東京国立近代美術館蔵
8	村越としや	濡れた地面はやがて水たまりに変わる	2014-2016/2018	ゼラチンシルバープリント	24.5×30.6	作家蔵
9	村越としや	沈黙の中身はすべて言葉だった	2011-2015	ゼラチンシルバープリント	60×180	作家蔵
10	石塚元太良	PIPELINE ALASKA #001	2019/2020	発色現像方式印画	120×148.5	作家蔵
11	石塚元太良	PIPELINE ALASKA #009	2019/2020	発色現像方式印画	120×148.5	作家蔵
12	石塚元太良	PIPELINE ALASKA #008	2019/2020	発色現像方式印画	120×148.5	作家蔵
13	石塚元太良	PIPELINE ALASKA #006	2019/2020	発色現像方式印画	120×148.5	作家蔵
14	石塚元太良	PIPELINE ALASKA #004	2019/2020	発色現像方式印画	120×148.5	作家蔵
15	石塚元太良	GS_001	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
16	石塚元太良	GS_002	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
17	石塚元太良	GS_003	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
18	石塚元太良	GS_004	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
19	石塚元太良	GS_005	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
20	石塚元太良	GS_006	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
21	石塚元太良	GS_007	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
22	石塚元太良	GS_008	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
23	石塚元太良	GS_009	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
24	石塚元太良	GS_010	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
25	石塚元太良	GS_011	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
26	石塚元太良	GS_012	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
27	石塚元太良	GS_013	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
28	石塚元太良	GS_014	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
29	石塚元太良	GS_015	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
30	石塚元太良	GS_016	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
31	石塚元太良	GS_017	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
32	石塚元太良	GS_018	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
33	石塚元太良	GS_019	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
34	石塚元太良	GS_020	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
35	石塚元太良	GS_021	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
36	石塚元太良	GS_022	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
37	石塚元太良	GS_023	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
38	石塚元太良	GS_024	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
39	石塚元太良	GS_025	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
40	石塚元太良	GS_026	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
41	石塚元太良	GS_027	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
42	石塚元太良	GS_028	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
43	石塚元太良	GS_029	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
44	石塚元太良	GS_030	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
45	石塚元太良	GS_031	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
46	石塚元太良	GS_032	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
47	石塚元太良	GS_033	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
48	石塚元太良	GS_034	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
49	石塚元太良	GS_035	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
50	石塚元太良	GS_036	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
51	石塚元太良	GS_037	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
52	石塚元太良	GS_038	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
53	石塚元太良	GS_039	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
54	石塚元太良	GS_040	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
55	石塚元太良	GS_041	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
56	石塚元太良	GS_042	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
57	石塚元太良	GS_043	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
58	石塚元太良	GS_044	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
59	石塚元太良	GS_045	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
60	石塚元太良	GS_046	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
61	石塚元太良	GS_047	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
62	石塚元太良	GS_048	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
63	石塚元太良	GS_049	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
64	石塚元太良	GS_050	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
65	石塚元太良	GS_051	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
66	石塚元太良	GS_052	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
67	石塚元太良	GS_053	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
68	石塚元太良	GS_054	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
69	石塚元太良	GS_055	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
70	石塚元太良	GS_056	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
71	石塚元太良	GS_057	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
72	石塚元太良	GS_058	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
73	石塚元太良	GS_059	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
74	石塚元太良	GS_060	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
75	石塚元太良	GS_061	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
76	石塚元太良	GS_062	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
77	石塚元太良	GS_063	2022	発色現像方式印画	42.4×54.5	作家蔵
78	石塚元太良	Texture_Burst Tire #001	2022	発色現像方式印画	85.5×68.4	作家蔵
79	石塚元太良	Texture_Burst Tire #003	2022	発色現像方式印画	85.5×68.4	作家蔵
80	石塚元太良	Texture_Burst Tire #004	2022	発色現像方式印画	85.5×68.4	作家蔵
81	石塚元太良	Texture_Burst Tire #002	2022	発色現像方式印画	85.5×68.4	作家蔵
82	西野壯平	Diorama Map London	2010	ライトジェットプリント	80×143	Emon Photo Gallery 蔵
83	西野壯平	Diorama Map Paris	2007-2008	ライトジェットプリント	135×156	Emon Photo Gallery 蔵
84	西野壯平	Diorama Map Tokyo 2014	2014	ライトジェットプリント	181×242	アマナコレクション蔵
85	西野壯平	Diorama Map Hiroshima	2003	発色現像方式印画	136.5×136	東京都写真美術館蔵
86	西野壯平	利根川－大水上山雪解け	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
87	西野壯平	利根川－大水上山山頂	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
88	西野壯平	利根川－雪が川へ流れだす	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
89	西野壯平	利根川－川の勢い	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
90	西野壯平	利根川－山から流れる滝	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
91	西野壯平	利根川－暴れる川	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
92	西野壯平	利根川－谷川岳に流れる滝	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
93	西野壯平	利根川－奥利根	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
94	西野壯平	利根川－大水上からダムへ	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
95	西野壯平	利根川－赤城山とダム	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
96	西野壯平	利根川－湧水を汲む	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
97	西野壯平	利根川－みなかみの街	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
98	西野壯平	利根川－渋川	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
99	西野壯平	利根川－吹割の滝	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
100	西野壯平	利根川－不動明王坐像	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
101	西野壯平	利根川－川下り	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
102	西野壯平	利根川－急流	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
103	西野壯平	利根川－萩原朔太郎と川	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
104	西野壯平	利根川－前橋の街と赤城山	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
105	西野壯平	利根川－穏やかな川	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
106	西野壯平	利根川－前橋を流れる支流	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
107	西野壯平	利根川－前橋の街と榛名山	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
108	西野壯平	利根川－川と石	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
109	西野壯平	利根川－関宿水閘門とトランペット奏者	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
110	西野壯平	利根川－利根大堰と羽生の街	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
111	西野壯平	利根川－魚の通り道	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
112	西野壯平	利根川－釣り堀	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
113	西野壯平	利根川－カスリーン公園と支流	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
114	西野壯平	利根川－雲	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
115	西野壯平	利根川－佐原の街と鴨	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
116	西野壯平	利根川－海	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
117	西野壯平	利根川－川辺の一本の木	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
118	西野壯平	利根川－息栖神社と老夫婦	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
119	西野壯平	利根川－海の星	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
120	西野壯平	利根川－取手を通る川	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
121	西野壯平	利根川－佐原の街並み	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
122	西野壯平	利根川－銚子の街並み	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
123	西野壯平	利根川－波	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
124	西野壯平	利根川－鹿島工場地帯	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
125	西野壯平	利根川－海と工場	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
126	西野壯平	利根川－海岸	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
127	西野壯平	利根川－川の終わり	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
128	西野壯平	利根川－海の風	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
129	西野壯平	利根川－川の星	2022	インクジェットプリント	70×70以内	作家蔵
130	西野壯平	IL Po	2018	ライトジェットプリント	14×96.2 (8枚組)	rin art association蔵
131	西野壯平	A Story of the Po River	2018／2022	インクジェットプリント	10×25-50×120	作家蔵
132	西野壯平	river frottages	2022	ゼラチンシルバープリント	29.7×21	作家蔵
133	片山真理	30days in tatsumachi studio	2015	発色現像方式印画、オリジナル フレーム	89.5×57.5×4.5	アーツ前橋蔵
134	片山真理	25days in tatsumachi studio／アツミレコード	2015	発色現像方式印画	22.1×29.5	アーツ前橋蔵
135	片山真理	25days in tatsumachi studio／スズキストア#001	2015	発色現像方式印画	29.5×22.1	アーツ前橋蔵
136	片山真理	25days in tatsumachi studio／山都園	2015	発色現像方式印画	29.5×22.1	アーツ前橋蔵
137	片山真理	25days in tatsumachi studio／鈴木薬局眼鏡部#002	2015	発色現像方式印画	29.5×22.1	アーツ前橋蔵
138	片山真理	25days in tatsumachi studio／あじさい	2015	発色現像方式印画	29.5×22.1	アーツ前橋蔵
139	片山真理	shell	2016	発色現像方式印画	120×120	東京都写真美術館蔵
140	片山真理	beast	2016	発色現像方式印画	120×120	東京都写真美術館蔵
141	片山真理	you're mine#001	2014	発色現像方式印画、オリジナル フレーム	106.7×163.8×5	アーツ前橋蔵
142	鈴木のぞみ	吉田理容室 入口の扉	2022	解体された理容室の扉、写真乳剤	180×72×16	作家蔵
143	鈴木のぞみ	吉田理容室 南の窓	2022	解体された理容室の窓、写真乳剤	132×167×3	作家蔵
144	鈴木のぞみ	吉田理容室 西の窓	2022	解体された理容室の窓、写真乳剤	108×79×4	作家蔵
145	鈴木のぞみ	吉田理容室 待合室の鏡	2022	解体された理容室の鏡、写真乳剤	61×46×0.5	作家蔵
146	鈴木のぞみ	吉田理容室 待合室の窓	2022	解体された理容室の窓、写真乳剤	133×121.8×4.5	作家蔵
147	鈴木のぞみ	吉田理容室 壁に設えた大きな3枚の鏡	2022	解体された理容室の鏡、写真乳剤	160×380×9.2	作家蔵
148	鈴木のぞみ	吉田理容室 時計	2022	解体された理容室の時計、写真乳剤	φ33×5	作家蔵
149	鈴木のぞみ	吉田理容室 装飾のある鏡	2022	解体された理容室の鏡、写真乳剤	85.5×35×2	作家蔵
150	鈴木のぞみ	吉田理容室 料金表の額	2022	解体された理容室の額、写真乳剤	49×40×5	作家蔵
151	鈴木のぞみ	Trace of the Light (部分)	2014	解体された家の窓、写真乳剤	174×170×3	作家蔵
152	鈴木のぞみ	Trace of the Light (部分)	2014	解体された家の窓、写真乳剤	174×276×3	作家蔵

関連記事

関連記事

新聞

掲載日	掲載紙	記事名	ページ	関連事業名
2022/ 4/ 16	上毛新聞	前橋文学館長の萩原朔美氏 アーツ前橋 助言役に	19	アーツ前橋全般
2022/ 6/ 9	上毛新聞	石塚まこさん 滞在制作の成果	17	滞在制作事業
2022/ 6/ 15	上毛新聞	52施設・団体名乗り 没後80年朔太郎大全	20	朔太郎と写真展
2022/ 6/ 19	上毛新聞	「境界線」問う絵画や彫刻	16	境界線展
2022/ 6/ 24	朝日ぐんま	コレクション展から”特別な場所”へ思いを馳せる	3	境界線展
2022/ 6/ 28	上毛新聞	旅テーマに地元作家展	9	境界線展
2022/ 7/ 5	東京新聞	全国52カ所で朔太郎祭りだ		朔太郎と写真展
2022/ 8/ 4	読売新聞	アーツ前橋特別館長公募	22	アーツ前橋全般
2022/ 8/ 25	読売新聞	福祉施設で制作のTシャツ600点並ぶ	24	ショッップ・カフェ
2022/ 8/ 30	上毛新聞	自然素材使い「生」問う	9	AM07展
2022/10/ 21	朝日ぐんま	「Art Meets」展 アーツ前橋で今月30日まで	3	AM07展
2022/10/ 21	上毛新聞	巨大キャンバス園児ら創作歓喜	16	AIS
2022/11/ 3	上毛新聞	アーツ前橋で市が公募 特別館長 採用なし	18	アーツ前橋全般
2022/11/ 17	上毛新聞	アーツ前橋、作家に委託料を未払い 前橋市が80万円を賠償する方針	18	アーツ前橋全般
2022/11/ 22	上毛新聞	朔太郎と孫が撮った前橋	8	朔太郎と写真展
2022/12/ 13	上毛新聞	80万円賠償の和解案を可決	22	アーツ前橋全般
2022/12/ 23	東京新聞	美術評「潜在景色」展	3	潜在景色展
2022/12/ 24	上毛新聞	全国で企画展 文学に光	1	朔太郎と写真展
2022/12/ 27	上毛新聞	朔太郎に多角的な光	9	朔太郎と写真展
2023/ 1/ 5	上毛新聞	山本 龍市長に聞く	9	アーツ前橋全般
2023/ 1/ 22	東京新聞	日常の光景から「潜在的な景色」	18	潜在景色展
2023/ 1/ 31	朝日新聞(夕刊)	記憶・時代・文化 潜在的な景色	3	潜在景色展
2023/ 2/ 22	上毛新聞	「アーツ前橋」作品紛失で市400万賠償で和解へ	23	アーツ前橋全般
2023/ 2/ 27	東京新聞	2遺族に計400万円賠償 アーツ前橋作品紛失で和解へ	21	アーツ前橋全般
2023/ 3/ 3	朝日ぐんま	現代写真家6人が写す”潜在的な景色”アーツ前橋 5日まで	6	潜在景色展
2023/ 3/ 8	上毛新聞	文化芸術戦略顧問 南條史生さん委嘱	22	アーツ前橋全般

雑誌・冊子

掲載日	掲載紙	記事名	ページ	関連事業名
2022/11/ 1	ギャラリー	朔太郎と写真	175	朔太郎と写真展
2022/11/ 1	ギャラリー	潜在景色	175	潜在景色展
2022/12/ 2	TownG	潜在景色	3	潜在景色展
2022/12/ 9	旅の手帖	写真家が引き出した「潜在的な風景」	61	潜在景色展
2022/12/ 17	タウンわたらせ	アーツ前橋企画展「潜在景色」来年3月5日まで	7	潜在景色展
2023/ 1/ 1	プレーン	潜在景色	122	潜在景色展
2023/ 1/ 1	前橋フリモ	潜在景色	19	潜在景色展
2023/ 1/ 1	前橋フリモ	朔太郎と写真	19	朔太郎と写真展
2023/ 1/ 25	Deli-J	展覧会「潜在景色」	29	潜在景色展
2023/ 1/ 25	アートコレクターズ	潜在景色	108	潜在景色展
2023/ 2/ 1	前橋フリモ	潜在景色	21	潜在景色展
2023/ 2/ 1	ランドスケープデザイン	アーツ前橋の展覧会「萩原朔太郎大全2022 朔太郎と写真」開催中	120	朔太郎と写真展
2023/ 2/ 3	週刊朝日	「潜在景色」	13	潜在景色展
2023/ 2/ 25	芸術新潮	潜在景色	129	潜在景色展

テレビ・ラジオ

放送日	放送局	放送番組名	関連事業名
2022/ 9/ 7	FM GUNMA	GUN★MADONNA(アーティスト 後藤朋美)	AM07展
2023/ 1/ 4	NHK(関東甲信越)	おはよう日本(詩人の萩原朔太郎と孫が同じ風景撮影 写真展 前橋)	朔太郎と写真展
2023/ 1/ 6	NHK(群馬)	ほっと群馬(萩原朔太郎と孫の写真展 アーツ前橋)	朔太郎と写真展
2023/ 1/ 10	FM GUNMA	POTLUCK(潜在景色)	潜在景色展
2023/ 1/ 25	群馬テレビ	news eye(6人の写真家がそれぞれの視点で風景切り取る「潜在景色」アーツ前橋で企画展)	潜在景色展
2023/ 1/ 29	NHK	日曜美術館アートシーン(潜在景色)	潜在景色展

ウェブサイト

掲載日	掲載サイト	記事名	関連事業名
2022/ 4/ 3	轟音(go on)	境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー	境界線展
2022/ 4/25	展覧会・博物館・美術館・記念館	境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー	境界線展
2022/ 4/27	アートスケープ	アートフラッシュニュース：境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー	境界線展
2022/ 4/27	カレウス(caleus)	境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー	境界線展
2022/ 4/27	ぐんラボ	境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー	境界線展
2022/ 4/27	びあ	境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー	境界線展
2022/ 4/27	MusCa	境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー	境界線展
2022/ 4/28	前橋まるごとガイド	4/29(金・祝)～7/18(月・祝) アーツ前橋「境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー」開催!	境界線展
2022/ 5/31	This is Media	境界線、そして交差する点へー アーツ前橋コレクションから考えるコスモポリタニズムー	境界線展
2022/ 7/22	轟音(go on)	Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子	AM07展
2022/ 8/ 1	デザイン情報サイト [JDN]	Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子	AM07展
2022/ 8/ 2	前橋まるごとガイド	8/6(土)～10/30(日) アーツ前橋で「Art Meets 07」開催!	AM07展
2022/ 8/ 6	tokyo art beat	「Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子」	AM07展
2022/ 8/ 6	アートスケープ	Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子	AM07展
2022/ 8/ 6	あとあと	Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子	AM07展
2022/ 8/ 6	ぐんラボ	Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子	AM07展
2022/ 8/ 6	デザインノート	Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子 2022.08.06 – 2022.10.30 @アーツ前橋	AM07展
2022/ 8/ 6	まえばしigoo	Art Meets 07	AM07展
2022/ 8/ 6	MusCa	「Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子」	AM07展
2022/ 8/ 9	展覧会・博物館・美術館・記念館	「Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子」	AM07展
2022/10/24	展覧会・博物館・美術館・記念館	「萩原朔太郎大全2022ー 朔太郎と写真ー」アーツ前橋	朔太郎と写真展
2022/10/24	展覧会・博物館・美術館・記念館	潜在景色	潜在景色展
2022/10/31	轟音(go on)	潜在景色	潜在景色展
2022/11/ 9	美術展ナビ	潜在景色	潜在景色展
2022/11/ 9	ファンションプレス	展覧会「潜在景色」アーツ前橋で	潜在景色展
2022/11/17	This is Media	萩原朔太郎大全2022 朔太郎と写真	朔太郎と写真展
2022/11/17	This is Media	潜在景色	潜在景色展
2022/11/17	あとあと	潜在景色	潜在景色展
2022/11/17	デザインノート	「萩原朔太郎大全 2022 朔太郎と写真」	朔太郎と写真展
2022/11/17	デザインノート	「潜在景色」	潜在景色展
2022/11/17	びあ	萩原朔太郎大全2022ー 朔太郎と写真ー	朔太郎と写真展
2022/11/17	びあ	潜在景色	潜在景色展
2022/11/17	まえばしigoo	萩原朔太郎大全2022ー 朔太郎と写真ー	朔太郎と写真展
2022/11/17	まえばしigoo	潜在景色	潜在景色展
2022/11/17	前橋まるごとガイド	11/19(土)～3/5(日) アーツ前橋で「萩原朔太郎大全2022ー 朔太郎と写真ー」開催!	朔太郎と写真展
2022/11/17	前橋まるごとガイド	11/19(土)～3/5(日) アーツ前橋で「潜在景色ー Latent Sceneryー開催!」	潜在景色展
2022/11/17	MusCa	萩原朔太郎大全2022 朔太郎と写真	朔太郎と写真展
2022/11/17	MusCa	潜在景色	潜在景色展
2022/11/19	tokyo art beat	「萩原朔太郎大全2022ー 朔太郎と写真ー」	朔太郎と写真展
2022/11/19	tokyo art beat	潜在景色	潜在景色展
2022/11/19	いこーよ	潜在景色	潜在景色展
2022/11/19	ウォーカープラス	潜在景色	潜在景色展
2022/11/19	ぐんラボ	萩原朔太郎大全2022 朔太郎と写真	朔太郎と写真展
2022/11/19	ぐんラボ	潜在景色	潜在景色展
2022/11/19	美術手帖	潜在景色	潜在景色展
2022/11/27	百兵衛 ONLINE	潜在景色ー Latent Sceneryー	潜在景色展
2022/11/28	デザイン情報サイト [JDN]	萩原朔太郎大全2022ー 朔太郎と写真ー	朔太郎と写真展
2022/11/28	デザイン情報サイト [JDN]	潜在景色	潜在景色展
2023/ 3/ 1	アートスケープ	潜在景色	潜在景色展

アーツ前橋年報 No.10

2024年3月発行

発行者 アーツ前橋

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16

TEL 027-230-1144

MAIL artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

URL <https://artsmaebashi.jp>

フォトクレジット

©KIGURE Shinya p.6、8、9右、10、11、15下、16

©ICHINEI Naoki p.19